

# 柿園管理情報 第6号

令和2年8月21日  
砺波農林振興センター  
城端果樹協会

## ■防除について

三社柿の肥大は昨年より、良好で平年並みとなっています。

9月は炭そ病の重点防除期となります。下記を参考に防除をお願いします。

フジコナカイガラムシの発生は少ない状況ですが、発生している場合は、コルト顆粒水和剤3,000倍を散布して下さい（防除暦参照）。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤	使用倍率	100リットル当たり薬量
8月29日頃	炭そ病	インダーフロアブル	5,000	20ml
9月15日頃	炭そ病	オーソサイド水和剤80	1,000	100g
10月1日頃	炭そ病	トップジンM水和剤	1,000	100g

※ クミテン10,000倍（10ml/水100リットル）等の展着剤を加用して下さい。

※ 畦畔柿では、水稲刈り取り以降に散布して下さい。

※ 炭そ病にかかった徒長枝（黒い楕円形の病斑が見られるもの）や果実は園地内に放置すると伝染源となるので、集めて処分して下さい。

※ 台風等の被害を受けた場合は、すみやかにトップジンM水和剤1,000倍（年間6回以内 収穫前日まで）を散布し、病害の発生を防いで下さい。

農薬散布は周囲の他の作物に薬剤が掛からないよう、以下に注意

- ① 農薬散布は無風または風が弱い日や時間帯を選び、風向き、散布器具のノズルの向きに細心の注意を払う。
- ② 収穫時期が近い作物が隣接するほ場に栽培されている場合、事前にその栽培者と連絡をとり散布計画を相談しておく。
- ③ 散布した年月日、農薬の名前、希釈倍数、使用量を記帳しておく。

※ 添付しました栽培記録簿は記入のうえ、加工講習会に提出願います。

干柿資材配布・加工講習会は、10月17日（土）に予定しております。

また、GAPシートは後日配布いたします。